

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	浜見平団地(建替)第2期第3住宅建設工事(D-1号棟)	階数	7F
建設地	茅ヶ崎市浜見平386番1他6筆の一部	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住専・準防火地域	平均居住人員	68人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2013年7月20日
敷地面積	1,926 m ²	作成者	青木あすなる建設(株)
建築面積	483 m ²	確認日	2013年7月22日
延床面積	2,270 m ²	確認者	青木あすなる建設(株)



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 30%: 建設 60%: 修繕・更新・解体 80%: 運用 100%: オンサイト 100%超: オフサイト

参照値: 100%
 建築物の取組み: 73%
 上記+ 以外の: 73%
 上記+: 73%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したもので9(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
大規模団地における豊かな環境資産を活かし、地域の人々の暮らしの場として相応しい多様性に富んだ施設づくりに配慮した。		
Q1 室内環境 角住戸の開口部にはペアガラスを採用。また小庇を設置するなど熱負荷低減に配慮した。	Q2 サービス性能 無梁床の採用により、広くフレキシビティー性の高い居住空間を確保している。躯体の劣化対策等級は3等級にて設計し高品位で信頼性の高いものとした。	Q3 室外環境(敷地内) 並木による歩道を整備し明るく開放的な沿道を整備し良好な景観を形成している。植栽により、沿道の環境形成に寄与し、周辺の街並みや風景との調和を意識し計画した。
LR1 エネルギー 省エネ対策として外皮性能を高めるべく断熱4等級にて計画。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器、手元スイッチ付シャワーヘッドを採用し節水に配慮した。住戸内は畳床工法を採用し、解体時に容易に分別できる仕様とした。断熱材はノンフロン品を採用し、汚染物質の抑制に配慮した。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出量の抑制に配慮した

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される